

OZAWA  
TIMES

vol. 5

2021年7月25日発行



製造本部 第二工事部  
副本部長 兼 部長

ふかみ えいし  
深見 英司

「この機械の自身は、一体どうなっているんだろう。」  
「どっという仕組みで、こんな風にも動くんだろう。」

少年時代から変わらず今も、機械への興味を抱き続ける深見英司。縁あって株式会社小澤製作所の一員となった深見は、これまでどのような道のりを歩んできたのだろうか。子ども時代のエピソードを振り返りながら、現在に至るまでの足跡をたどる。

### 掃除機の内部分 気になって……

幼い頃から、機械の構造に強い関心をもっていた。今でもよく覚えているのは、小学4年生のある日のこと。目に留まったのは、両親が買ってきた新品の掃除機だった。

「どっして、これがゴミを吸うんだろう。」

少年だった深見の胸は、そんな好奇心でいっぱい。気持ちを抑えることができずに道具箱を手にし、1本、また1本とボルトを外していく。分解された掃除機を前にして「こういう仕組みか」と納得すると、今度は組み立てを開始。掃除機は形を取り戻したが、手元にはなぜか余った3本のボルト。不思議に思いながらも「大丈夫だろう」とスイッチを入れると、掃除機は動き出した。

しかし、その3日後に掃除機は突然故障。「まだ新しいのに、どうしてだろう」と不思議がった両親に、分解したことを正直に打ち明けたものの、厳しく叱られた。今となっては、それも懐かしい思い出である。好奇心旺盛な性格は、大人になった現在でも変わらない。

一度は手放した入社チャンス  
月日は流れ、社会人として世に飛び出す日がやってきた。中部電力株式会社に関連企業に就職し、火力発電所内で機械仕上工として働き始めたのだ。尊敬できる師匠に出会って知識と技術を積み重ね、モーターやポンプなどの点検整備に従事。8年間にわたり、現場に立ち続ける毎日を送ってきた。大好きな機械に触れる仕事に就き、生き活きと働く日々。

転機が訪れたのは、2011年

3月11日。東日本大震災である。震災の影響は深見の職場にも色濃くあらわれた。社内体制が大きく変わり、少しずつ居心地の悪さを感じるように。「このままこの会社に残っても、自分の望む働き方はできないかもしれない……」という懸念が、日に日に大きくなっていく。そして、ついに退職を決意して転職活動に踏み切った折、出

月間だった。

### 活躍の場を 小澤製作所に移して

「私が好きなのは、新しいものを作ったり、既存の機械を延命させたりすること。新しいものを作るために壊すことはできても、ただ『壊す』ということに魅力を感じなかったのです。」

こうして解体業者をあとにした



深見。次の職場として頭に浮かんだのは、一度は内定を辞退した小澤製作所だった。思い切って連絡して事情を話すと、返ってきたのは「ぜひ一緒に働きましょう」という力強い言葉。こうして深見は、小澤製作所の一員として、新たな一歩を踏み出したのである。

配属されたのは工事一部。ここ

工事二部の立ち上げに携わる運びとなる。工事一部は40年以上にわたって加藤化学株式会社様に常駐し、業務を請け負ってきた部署。しかし、会社の存続および成長のためにも、加藤化学様だけに依存するのではなく、工事二部を立ち上げて新規開拓に取り組むことになったのだ。

工事二部の発足と同時に部長へ就任し、2020年7月には製造本部の副本部長も兼務して現在に至る。職人として作業にあたるかたわら、現場監督として全体を俯瞰し、営業活動、見積もり、設計と、その業務内容は実に幅広い。多岐にわたる業務をこなしながら、深見は今、どのような思いを抱いているのだろうか。

(後編に続く)

# 施工事例

## 紹介

### 工事の概要

案件：既設の工場にある設備のレイアウト変更  
 施工期間：約1ヶ月  
 小澤製作所に入社して初めての施工案件です。初めて現場を経験し、設計から施工、保守まで一貫して行うという小澤製作所の特徴が顕著に現れた案件だったので印象に残っています。



設計から現場まで幅広く担当されている竹村さん。「現場を熟知した設計担当」になるべく尽力する竹村さんの初の施工案件について振り返ってもらいました！



第一工事部 設計部  
 マネージャー  
 たけむら ゆうき  
**竹村 幸起さん**

### 最もこだわったところ

お客様の用途に沿うものを提供することです。よりお客様のニーズを引き出すため、聞き込みから始めます。大枠の計画から、詳細の部分まで一緒に話し合うことで、二人三脚で作り上げました。また、衛生的な面や一つひとつの作業にもこだわっています。当たり前のことではありますが、食品工場ということもあり、異物が混入しないよう、いつも以上に気を遣って作業を行いました。

### 最も苦労した点

既設の工場に新しい設備を導入するため、配置や大きさを調整しながら作業を行うことに苦労しました。図面だけで動くのではなく、実際に現場を見て、トライアル・アンド・エラーを繰り返すことで調整を行います。最も苦労し、大変でしたが、同時にやりがいや面白さを感じる作業です。



### お客様との関係

私は前職でメーカーの設計を担当していました。当初は考え方が固く、自分の考えを押し付けてしまうことがありました。相手の意見に対し、否定から入っていたため、工場長との関係も悪化していたと思います。しかし、時間が経つにつれて、小澤製作所のやり方、存在意義が染み付いていき、今までの考え方を改めようと思ったのです。それからは「どのような意見に対してもまずは受け入れる」ことを実践し、失敗と改善を繰り返しながら業務を行うようになりました。工場長との関係も改善され、2020年ごろからは直接工場長から連絡いただけるようになりました。少しずつ信頼関係の構築ができていくことが実感でき、嬉しく思います。

### 今後の意気込み・目標

本来は設計が専門ですが、ここ数年は現場がメインになっています。そのため、日々の業務で学ぶことがたくさんあります。自分の考えもしない手法や違う価値観、それぞれを組み合わせて新たに自分がアウトプットすることにより良いものにしていきたいです。そして「現場を熟知している設計担当」になるのが今の目標です。前述の通り、小澤製作所は設計から施工、保守まで一貫して行っているのが特徴の会社です。そのため、設計と現場での連携は欠かせないものになります。より深く現場を知っている設計担当になれば、円滑に作業が行えるため、今後も様々なことを吸収していきたいです！

## IZUMI PARKING 実績紹介

それぞれの仕事にはそれぞれのやりがいがある。

ご利用者様の接客を行っている鈴木さんにお話を伺いました。

いずみパーキング **鈴木 久則さん**

### 心がけていること

ハイグレードなお客様と接する機会が多いため、入社当初は厳しいご指摘をうけたことも。言葉遣いやご案内の仕方、ホテルの品質向上のための「オーライ」を言わない、手先だけでなく付から大きく動かしで誘導するなど、細かい指導をしていただきました。若い頃、ホテルマンとして働いていたため、その経験も活かしながら接客をしています。

### 嬉しいと感じる瞬間

お客様にお声をかけて頂いたとき、嬉しく感じます。「ありがとうございます」「お世話になりました」という言葉は私の仕事の原動力でもあります。また、小さなお子様から「おじさん」と気軽に話しかけられたときも、自然と笑顔が溢れます。

### お客様へ向けて

ホテルのレストランも有名で、時々TVや雑誌に載っています。食事が美味しかったと、満足して帰られるお客様もいらっしゃる一方で、ぜひレストランだけでもご利用ください。お待ちしております。



### 案件の概要

名古屋駅に近い四つ星のホテルに併設されているタワー駐車場です。最大14台入庫が可能で、ハイルーフ車や車幅の大きな外車等も入庫可能です。営業時間は朝7時から夜10時まで営業しております。コロナの影響を受けながらも、多くのお客様にご利用いただいています。



## BRICKYARD Recommended

梅雨が明け、いよいよ本格的な夏が近づいてまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか。今月のイチオシをご紹介します。

### Monthly SELECTION

ドライフラワーをおすすめします。7月12日(月)に、親子で楽しめるイベントを開催しました。開催に向けて、アンティークショップのストアインファクトリーさんで新調いたしました。主に撮影用に使用される予定です。

### Customer's Voice

「新しい備品が増えていて良かった」「やっぱりブリックヤードは最高」と、ご好評をいただいております。

コロナの影響を考慮しながら、今後は「ブリックマーケット」と題してイベントやマルシェを再開する予定です。撮影スタジオで開催するという点を活かして、フォトスポットを作ったり、作家さんに出店していただいたりと、様々なイベントを開催していきたいです。



文章:BRICKYARD 香山 冨季さん